

東日本大震災の大津波に耐えた高田松原の一本松は、震災直後から復興のシンボルとして市民のみならず、全世界の人々から親しまれてきました。現在この一本松は、徐々に衰弱が進んで枯死にいたってしまいました。そこで復興の象徴として後世に受け継ぐためにモニュメントとして整備することとなりました。みなさんのご協力をお願いします。

▶ 募金方法

1. 口座振込 (振込手数料はお客様にご負担頂きます)

岩手銀行 口座：岩手銀行 高田支店(033) 普通 2051836
名義：奇跡の一本松保存募金 代表 陸前高田市長 戸羽太

ゆうちょ 口座記号番号：02290-9-127013
名義：奇跡の一本松保存募金

2. 現金

現金書留 現金書留で下記連絡先までご郵送ください。

※送付金額、住所、氏名、電話番号を記載した文書を同封ください。後日、受領書を送付致します。

3. クレジットカード決済

Facebookから「がんばっぺし陸前高田」で検索し、奇跡の一本松保存募金のページにて詳細をご確認ください。
www.facebook.com/RikuzentakataCity

■連絡先・お問い合わせ先

陸前高田市都市計画課 〒029-2292 岩手県陸前高田市高田町字鳴石 42-5 TEL0192-54-2111 (内線 461) FAX0192-54-3888

奇跡の一本松 保存募金

7万本の松林からたった一本、
津波に耐えた一本松。
私たちに希望を与えてくれた
一本松は、もはや自然が枯死させませんが、
復興の象徴として新しい形で残していきたいと思います。
みなさんの協力をお願いします。

岩手県陸前高田市 戸羽太



今月のおすすめ本

91歳の人生塾

小学館



清川 妙/著

「徒然草」と「万葉集」の講義を行い、英語と江戸文化歴史検定の勉強を続けている九十一歳の著者。老いを恐れず、つらいこともプラスに切り替える生き方として、「いつだって今が始まり。思いいたらすぐに始める。」「悲しいときもユーモアを心に散らす。」「など。体や心や脳を鍛えながら生きるために、「楽しみながら少しずつ、前を向いて。」「自分との約束を作り、心に締切りを持つ」など。十七年前に夫を、その半年後に四十九歳の息子を亡くしても「夢をかかげ、かなえる」という意志を持ち、なにがとも、ゆっくり、ていねいに。」を続けている。(中村 政博)

雪の結晶ノート

あすなろ書房



マーク・カッシーノ/
ジョン・ネルソン/作

寒い冬に降る雪。雪かきは大変ですが、その雪の結晶は一つとして同じものもなく、美しいものです。でも、雪の結晶がどのようにできるのか知っていますか？最初は小さなちりなです。そして一つ一つ成長してあめ美しい結晶になるのです。この絵本にはその過程と種類を美しい写真と共にわかりやすく紹介しています。雪の結晶の観察方法も紹介してありますので、寒い冬ですが、ぜひ世界に一つの素敵な雪の結晶を見つけてみてください。(加藤 みどり)



2月の暦
雪の郵便局
八幡武義作

平成25年2月 下諏訪町リサイクルカレンダー

「×」印の日は収集を行いません

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 資源物等の収集品目 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|------------------------------------------|
| 第1週 | | | | | | 1 | 2 | アルミ缶・ペットボトル・無色ビン・白色トレイ・発砲スチロールと色つきトレイ・古布 |
| 第2週 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | スチール缶・茶色ビン・紙類(新聞紙・ダンボール紙・雑誌・紙パック・その他の紙類) |
| 第3週 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | アルミ缶・ペットボトル・その他の色ビン・白色トレイ・発砲スチロールと色つきトレイ |
| 第4週 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | スチール缶・金属類・埋立てのみ |
| 第1週 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | | アルミ缶・ペットボトル・無色ビン・白色トレイ・発砲スチロールと色つきトレイ・古布 |

皆様へお願い

■「家庭ごみの正しい出し方」「リサイクルカレンダー」で確認してから出してください。
氏名を必ず書いてください。

月例資源物収集日：2月3日(日) 午前7時～午前8時の間に指定場所へ。※種類ごとに十文字にしぼって出してください。
硬質プラスチック収集日：2月17日(日) 午前9時～午前11時までの間に赤砂崎へ持ち込んでください。

※紙類は、雨が降っている場合は絶対に出さないでください。
※第4週資源物の日の「剪定木」収集は11月で終了しました。12月から4月末まで資源物として出す場合は直接清掃センターへ持ち込んでください。焼却ごみとしては通年で収集しています。小枝と葉をよく取り除き、長さ1m以内、束ねた直径30cmにし、氏名を書いた45リットルの焼却ごみ袋を巻いて出してください。